

【出題意図】

・ 問題Ⅰ（医学科・歯学科共通問題）

2つの異なるジャンルの文章（文学・思想領域の著者の文章と科学者である筆者の文章）を読解して、「真実」に対する捉え方の違いを把握し、それについてどう考えるか意見をまとめさせる。

・ 問題Ⅱ（医学科問題）

- ・ 主観的健康観の重要性についての理解。
- ・ 社会経済的な因子が身体的な健康に影響を及ぼすことの理解。
- ・ 表記の正確性、論旨の明確性。

設問1

- ・ 主観的健康観は包括的評価であり、健康に対する意識や利用できる外的・内的資源も反映するという多因子の総合的評価であること、など。

設問2

- ・ 認知行動療法は歪んだ認知を修正するように働きかける治療法である。
- ・ 自分で考えた例を用いて、適切に説明できているか。

設問3

- ・ 主観的健康観は身体機能の低下や死亡リスクの予想力をもつ、など。
- ・ 自分の考えを明確に、かつ、合理的な内容として書けているか。

・ 問題Ⅱ（歯学科問題）

・ 設問1

科学的文章を読解し、自分の言葉で説明できる能力を図る。

・ 設問2

科学的文章を読解した上で、考察を加えた文章を表現する能力を図る。